

令和6年度 第1回倉吉市社会教育委員協議会について（概要）

- 1 日 時 令和6年10月23日（水）午前10時～午後0時25分
- 2 場 所 北谷コミュニティセンター 会議室
- 3 出席者 委 員：岩垣会長、長岡副会長、小椋委員、眞田委員、山下委員、前田委員、
野儀委員、鷺見委員、笠見委員、明里委員、枡田委員（欠席：池田委員、岸田委員）
事務局：中田教育長、石賀事務局長、向井社会教育課長、根鈴博物館長、
田村図書館長、社会教育課：井谷課長補佐・多久和係長
関係課：田村地域づくり支援課長、菅野人権政策課長、岡本文化財課長
- 4 研 修 テーマ 「南部町社会教育委員の活動紹介～社会教育委員による幸せ探究活動～」
講 師 南部町社会教育委員 都田 沙希 さん

5 協議事項

（1）第3期倉吉市教育振興基本計画成果指標実績について（令和5年度終了時）

[主な意見等]

- ・地域を眺めると、コロナのこの3年間で失われたものがすごくある。リアルに対面で対話をするっていうことが本当に減っていたことを実感した。もっとそういう機会を増やしていかないといけない。
 - ・子どもたちが予想以上に生活をしていくスキルがすごく落ちている。私たちシニアが元気なうちにノウハウやスキルを今伝えておかないと失われてしまうという危機感を持っている。世代をどうやって繋ぐかが課題。
 - ・学校が休みになることで困る子どもたちや家庭がある。いろんな問題が出てくる。どうしたらいいのか家庭の中で抱え込んで外に出せない状況もある。いろんな人と繋がらないと解決できない、対応できない。福祉と教育とで分けずに総合的に考えることが必要。
 - ・地域の担い手をどうするかについては、全然見通しが立たない。次の世代が確実に育ってるかというところと全く自信がない。根本的に議論をして地域での解決策を見出していくような作業をしないと間に合わない。
 - ・PTA 世代の疲労が溜まっている。PTA 活動に参加しない保護者が多くなって、活動がままならない状況になってきている。地域への気持ちも薄れてくるのではないかと危機感を持っている。
 - ・小学校が統合されて、今までだったら北谷小学校を通じればストレートに通じたが、今は伝わらないという構造がある。地域事情からどんどん子どもたち自身も、親自身も離れてしまうことが怖い。困っている。
 - ・教育委員会が主導で西郷ミーティングなどで、いろんな世代が話をされたと同った。次の世代が描くものをどう作り出していくかを支援するといった、そういう場面をどう作っていくかを地域づくり支援課や社会教育課などいろんな担当課で早速にでも考えてみていただけるとよい。
- ⇒自分たちの市や地域をどんなふうにしていきたいのかをそれぞれの地域、市全体でもしっかり考えていく機会や場が必要だと思う。コミュニティスクール、地域学校協働活動と学校運営協議会に PTA も巻き込みながら取り組むことも有効な手段になっていくのではないかな。これからの倉吉のことを考えると、学校教育、社会教育、そして市全体でしっかり見つめ直していく、大事な時期がこのアフターコロナの時期に来ている。教育委員会としてもしっかりと取り組み、市長部局とも連携しながらやっていきたい。
- ・来年3月には県立美術館ができる。当然客を取られる可能性は高い、それについてどのように考えているか。

⇒客を取り合おうとは全く考えていない。地域に根ざした、郷土の作家あるいは郷土の遺産、郷土の文化財をあてていきたい。県外からたくさん県立美術館の特別展を目指してこられる方に、この県立美術館がある倉吉はどういうまちなのか、また何で倉吉にできるのかという質問に対する答えを倉吉博物館の企画展の中で示していきたいと考えている。

・文化財課がこの4月から教育委員会から市長部局に変わった。文化財を観光資源としてということに変えられたと思うが、事業の考え方に見直しがあるのかどうか。

⇒保存活用に関する考え方は基本的には教育委員会の時代と変えるつもりはない。ただ、文化財の活用の部分が見えにくいという声が非常に多くあり、そこを観光と連携したり、仕事定住と連携したりして、地域の皆さんに分かりやすく、身近なものにさせていただく必要があるというところは、今までにない動きをやっていかねばならないと考えている。

(2) 令和6年度倉吉市教育委員会重点施策に基づく実施計画の進捗状況（中間評価）について

[主な意見等]

・ある中学校の生徒が、部活動とは別の剣道の全国大会に参加することになったが、欠席扱いになると言われた。これから地域移行していくのに、その辺をどう考えられるのか、協議して欲しい。

⇒これからのことを考えると、全県的な課題になってくるので、県の体育保健課とも話を持っていっておきたい。

6 報告事項

(1) 人権教育に対する意見への対応について

[主な意見等]

・なし

(2) 倉吉市立中学校部活動地域連携・地域移行に向けた進捗について

[主な意見等]

・部活動というとスポーツにメインで日が当たるが、スポーツが苦手な子もいる。文化的な活動するクラブは本当に今無い。料理クラブとか手芸クラブみたいなのも、地域の中でできればよい。また、保護者さんが送迎しないとできないという事態が起こっている。子どもたちが気軽に行けて活動できる所が、地域の中で増えていくとよい。

⇒地域においては、特にコミセンの活動でサークルがあると思うので、理想としては、そこに気軽に参加できるような仕組みができたらと思っている。文化系部活動も含めて協議を進めていければと思う。

・合同にすると親の送迎も出てくる。費用の負担も非常に多くなる。学校が違ってくるとその費用負担はどうか、PTAが負担しないといけないときにどうなるのかという部分もある。

⇒あらゆる課題がたくさんあると思うので協議していきたい。

・明倫小学校は、3年前から自主的に東中のほうへ行っている。地域のほうに東中の情報は一切入ってこないで、ぜひ教えていただきたい。今働き方改革で先生が出てこられないことが増えた。地域との思いを合わせて子どもたちを育てていくような施策を考えていただきたい。

⇒学校教育課にも情報提供していく。

・市のホームページ、非常に利用しにくい状況がある。市の施設の利用について、全部一括してインターネットで申し込むことになっているようだが、地元の間が地元にある施設を使う時は、もう少し簡単に使えるような仕組みも教えてほしい。

⇒関係課に伝えて改善するように話をしてみる。

7 その他

・情報発信をしっかり倉吉全体で考えていったほうがよい。関係する人はわかるけれども、そうではない人たちが分かりにくいので、SNSや動画などいろいろ使いながら発信して欲しい。